

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東  
 コード番号 5970 URL <https://www.g-tekt.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 木村 誠 TEL 048-646-3400  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月8日 配当支払開始予定日 2021年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	105,137	15.5	3,560	611.2	4,044	891.5	3,203	—
2021年3月期第2四半期	91,005	△22.7	500	△89.5	407	△91.9	188	△94.2

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 2,106百万円（563.5%） 2021年3月期第2四半期 317百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	74.59	—
2021年3月期第2四半期	4.39	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	237,151	146,411	57.3
2021年3月期	237,955	145,052	56.2

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 135,786百万円 2021年3月期 133,844百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	28.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	28.00	56.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,300	11.4	10,600	31.7	11,000	27.1	7,800	19.4	181.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	43,931,260株	2021年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	958,970株	2021年3月期	1,000,201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	42,943,475株	2021年3月期2Q	42,931,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL <https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>）を併せてご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、4月～6月において新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及状況や景気支援策により、欧米等の先進国を中心に景気回復が進みましたが、夏季には、感染再拡大に伴う行動制限や半導体不足の影響等により、経済回復が鈍化しました。

自動車業界は、世界的な半導体不足が自動車生産に大きな影響を与え、自動車メーカーは大幅減産を余儀なくされました。

前年同期との比較では、各国の自動車販売台数が増加となり、当社においても、コロナ禍からの生産回復で量産・非量産売上が増加したものの、第1四半期から続く半導体不足に加え、東南アジアにおける感染拡大で部品調達難が深刻化し、自動車メーカーの減産により、当社受注生産台数が当初計画を大きく下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は105,137百万円（前年同期比15.5%増）、利益につきましては、増収効果に加え、コロナ禍での原価低減や販管費削減の効果が継続しており、営業利益は3,560百万円（前年同期比611.2%増）、経常利益は、4,044百万円（前年同期比891.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,203百万円（前年同期は188百万円の純利益）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①日本

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	25,547	19,958	△5,588	△21.9%
営業損失(△)	△114	△1,203	△1,088	—

前期との主な増減要因

売上高 半導体や部品不足の影響で得意先が減産となり、量産売上が減少したことに加え、型設備売上が減少し、減収となりました。

営業損失 量産・非量産売上の減少の影響が大きく、固定費の削減が追い付かず、営業損失となりました。

## ②北米

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	30,846	33,180	2,334	7.6%
営業損失(△)	△968	△987	△18	—

前期との主な増減要因

売上高 量産売上の増加及び為替影響等により増収となりましたが、半導体不足の影響により、生産台数は伸び悩みました。

営業損失 人手不足や、労務費等の製造費用増加、更には販管費の削減が追い付かず、営業損失となりました。

## ③欧州

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	5,937	10,084	4,146	69.8%
営業利益	300	2,152	1,851	616.8%

前期との主な増減要因

売上高 半導体不足の影響はありましたが、欧州系自動車メーカーからの受注生産台数は増加しました。量産売上の増加及び為替影響等により、増収となりました。

営業利益 量産売上の増加等による増収効果及び補償等により、増益となりました。

## ④アジア

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	8,733	12,606	3,872	44.3%
営業利益又は損失(△)	△1,181	404	1,585	—

前期との主な増減要因

売上高 生産が回復の過程にありましたが、半導体不足とロックダウンの影響で得意先が減産し、売上高が伸び悩みました。

営業利益 増収効果及び金型未償却残高減少で収益が改善し、増益となりました。

## ⑤中国

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	26,965	29,036	2,071	7.7%
営業利益	2,620	2,306	△313	△12.0%

前期との主な増減要因

売上高 半導体不足の影響による生産台数減少に伴い、量産売上が減少しましたが、材料単価の変更及び為替影響等により増収となりました。

営業利益 生産台数減少の影響に加え、労務費上昇の影響により、減益となりました。

## ⑥南米

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	1,455	4,964	3,508	241.1%
営業利益	10	966	955	—

前期との主な増減要因

売上高 生産台数の増加に伴う量産売上の増加や型設備売上の増加等により、増収となりました。

営業利益 受注拡大及び生産台数増加による増収効果や固定費削減効果等により、増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より803百万円減少し、237,151百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末より2,162百万円減少し、90,740百万円となりました。これは主に、前受金の減少によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より1,358百万円増加し、146,411百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、278百万円減少し、25,691百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動のキャッシュ・フローは、8,480百万円の資金増加となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益4,081百万円、減価償却費7,577百万円です。減少要因は、前受金の減少1,735百万円、法人税等の支払額1,979百万円です。

前年同四半期連結累計期間が5,684百万円の増加であったことに比べて、2,796百万円の増加となりました。主な要因は、売上増加に伴う税金等調整前四半期純利益の増加です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動のキャッシュ・フローは、8,810百万円の資金減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出7,154百万円、無形固定資産の取得による支出118百万円です。

前年同四半期連結累計期間が5,427百万円の減少であったことに比べて、3,382百万円の減少となりました。主な要因は、新機種への投資の減少に伴う有形固定資産の取得による支出の減少です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動のキャッシュ・フローは、404百万円の資金増加となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加6,094百万円です。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出5,702百万円、配当金の支払額1,085百万円です。

前年同四半期連結累計期間が8,628百万円の減少であったことに比べて、9,032百万円の増加となりました。主な要因は、借入金の増加です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月13日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしました。

## ①2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 238,700	百万円 12,400	百万円 12,100	百万円 8,600	円 銭 200.32
今回修正予想 (B)	233,300	10,600	11,000	7,800	181.57
増減額 (B-A)	△5,400	△1,800	△1,100	△800	—
増減率 (%)	△2.3%	△14.5%	△9.1%	△9.3%	—
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期)	209,420	8,050	8,653	6,532	152.15

## ②修正の理由

世界的な半導体供給不足や東南アジア地域における新型コロナウイルス感染再拡大に伴う部品供給不足による、各自動車メーカーの減産影響により、当第2四半期累計期間における当社の受注生産台数は当初想定を大きく下回りました。

こうした市場環境の下、下半期の見通しは当初想定を上回る生産回復を見込んでおり、製造コストや一般管理費の削減を進めておりますが、上半期における業績下振れ影響が大きく、通期では当初想定の上高・利益の水準には至らないものと見込みましたため、通期の連結業績予想を修正いたします。

上記の業績見通しは、現時点での入手可能な情報に基づく将来予測が含まれており、当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や為替変動等の内外の状況の変化により、予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、主要通貨の第3四半期以降の想定為替レートは、米ドル110.00円、人民元16.70円です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,162	30,120
受取手形及び売掛金	29,534	30,916
製品	1,341	1,490
仕掛品	20,790	29,240
原材料	2,319	3,048
貯蔵品	1,115	1,177
その他	6,300	7,336
流動資産合計	90,565	103,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,299	53,526
機械装置及び運搬具(純額)	36,935	36,381
工具、器具及び備品(純額)	18,528	9,175
土地	12,902	12,852
建設仮勘定	12,797	9,390
有形固定資産合計	135,463	121,325
無形固定資産	1,699	1,568
投資その他の資産		
投資有価証券	7,832	8,166
その他	2,395	2,760
投資その他の資産合計	10,227	10,927
固定資産合計	147,390	133,821
資産合計	237,955	237,151
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,581	19,674
短期借入金	15,583	21,747
1年内返済予定の長期借入金	8,549	9,189
未払金	6,323	6,075
未払法人税等	1,278	1,199
前受金	6,349	4,070
賞与引当金	1,342	1,867
その他	2,253	2,393
流動負債合計	62,261	66,219
固定負債		
長期借入金	22,246	17,103
退職給付に係る負債	1,304	1,226
役員株式給付引当金	397	385
その他	6,694	5,806
固定負債合計	30,641	24,521
負債合計	92,903	90,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,635	23,635
利益剰余金	96,839	99,216
自己株式	△1,772	△1,707
株主資本合計	123,358	125,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,115	1,236
為替換算調整勘定	9,032	8,449
退職給付に係る調整累計額	337	299
その他の包括利益累計額合計	10,485	9,985
非支配株主持分	11,207	10,624
純資産合計	145,052	146,411
負債純資産合計	237,955	237,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	91,005	105,137
売上原価	84,921	95,222
売上総利益	6,084	9,914
販売費及び一般管理費	5,583	6,354
営業利益	500	3,560
営業外収益		
受取利息	160	140
受取配当金	50	55
為替差益	—	159
持分法による投資利益	—	173
助成金収入	105	41
その他	144	183
営業外収益合計	461	754
営業外費用		
支払利息	366	235
為替差損	135	—
持分法による投資損失	4	—
その他	47	34
営業外費用合計	554	269
経常利益	407	4,044
特別利益		
固定資産売却益	62	33
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	62	36
特別損失		
新型コロナウイルス感染症関連損失	418	—
特別損失合計	418	—
税金等調整前四半期純利益	52	4,081
法人税等	351	1,114
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△298	2,967
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△487	△235
親会社株主に帰属する四半期純利益	188	3,203

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△298	2,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	120
繰延ヘッジ損益	△28	—
為替換算調整勘定	671	△985
退職給付に係る調整額	31	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	42
その他の包括利益合計	616	△860
四半期包括利益	317	2,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810	2,702
非支配株主に係る四半期包括利益	△492	△596

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	52	4,081
減価償却費	9,652	7,577
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	66	△77
賞与引当金の増減額 (△は減少)	464	535
受取利息及び受取配当金	△211	△196
支払利息	366	235
持分法による投資損益 (△は益)	4	△173
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3
固定資産除売却損益 (△は益)	△62	△33
新型コロナウイルス感染症関連損失	133	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,317	7,223
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△835	△4,667
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,274	△1,436
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	47	△297
前受金の増減額 (△は減少)	△2,900	△1,735
未払金の増減額 (△は減少)	1,346	△310
その他	12	△240
<b>小計</b>	<b>7,094</b>	<b>10,481</b>
利息及び配当金の受取額	238	252
利息の支払額	△354	△273
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,295	△1,979
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,684</b>	<b>8,480</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	4,859	△1,535
有形固定資産の取得による支出	△10,139	△7,154
有形固定資産の売却による収入	90	37
無形固定資産の取得による支出	△198	△118
投資有価証券の取得による支出	△34	△36
投資有価証券の売却による収入	—	5
その他	△5	△8
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,427</b>	<b>△8,810</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,347	6,094
長期借入れによる収入	6,839	1,174
長期借入金の返済による支出	△4,915	△5,702
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△59	△76
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,041	△1,085
非支配株主への配当金の支払額	△104	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,628</b>	<b>404</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	121	△354
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△8,249</b>	<b>△278</b>
現金及び現金同等物の期首残高	31,841	25,970
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>23,591</b>	<b>25,691</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

当会計基準等の適用による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりであります。

生産に要する金型の費用を一定の期間にわたって顧客から回収し、売上高と売上原価を計上してはおりますが、第1四半期連結会計期間より、一時点で売上高と売上原価を計上してはおります。この結果、売上高は194百万円減少し、営業利益は126百万円増加いたしました。

当会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用してはおります。この結果、利益剰余金の当期首残高は258百万円増加してはおります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載してはおりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益、財政状態及び1株あたり情報への影響はございません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

## (追加情報)

当第2四半期連結累計期間における自動車市場は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及や景気支援策によって、各地域に差があるものの、全体として需要の回復が進んでおります。

他方で、世界的な半導体需要の拡大に伴う半導体供給の不足や東南アジア地域における感染再拡大に伴う部品供給の不足により、サプライチェーンリスクが顕在化しております。

こうした供給面での懸念は残りますものの、主に東南アジア地域をはじめとする各国の同感染症の再拡大状況や規制状況、顧客の生産状況や各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第3四半期会計期間以降の生産は年度末に向けて上向き、と想定しております。

この想定に基づき、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行った結果、当第2四半期連結累計期間の連結財務諸表において重要な影響は無いと判断しておりますが、この想定には不確実性が含まれているため、今後の半導体の供給状況や新型コロナウイルス感染症の再拡大状況によっては、当社グループの業績および財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	18,815	30,643	5,818	8,357	25,943	1,427	91,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,731	202	119	376	1,022	27	8,480
計	25,547	30,846	5,937	8,733	26,965	1,455	99,486
セグメント利益又は損失(△)	△114	△968	300	△1,181	2,620	10	665

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	665
セグメント間取引消去等	△165
四半期連結損益計算書の営業利益	500

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	16,761	32,944	9,949	12,600	27,917	4,963	105,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,197	235	135	5	1,119	0	4,693
計	19,958	33,180	10,084	12,606	29,036	4,964	109,831
セグメント利益又は損失(△)	△1,203	△987	2,152	404	2,306	966	3,637

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,637
セグメント間取引消去等	△77
四半期連結損益計算書の営業利益	3,560